

会派行政視察届出書

平成 28 年 / 月 2 / 日

豊明市議会議長 殿

豊明市議事課
28.1.21
分類 . . . 30・10・5・1
可・否・一部否・一時否
第 30 号 受付

会派の名称 日本共産党

代表者氏名 郷右近 修

下記のとおり会派の行政視察を実施しますので届出致します。

記

期 間	平成 28 年 2 月 / 日 ~ 2 月 2 日 (/ 泊 2 日)		
視 察 先 及 び 視 察 事 項	静岡県静岡市葵区黒金町 20 番地の 8 静岡商工会議所静岡事務所会館にて行われ 市町村議会議員研修会に参加します。 ・地方財政と自治体政策について (地方創生への対応) ・介護保険について (介護の地場産業化)		
参加議員	郷右近 修		
旅 費 額 (概 算 額)	一	交通費 12,462 10,560 円	旅 費 総 額 1 人分 28060 56,160 円
	人	日 当 3,000 円	
	当	宿泊料 14,500 円	
	り	その他 27,000 0 円	
		合 計 56,160 28060 円	
備 考	受講料 27,000 円		

2016年2月1日、2月2日の研修会参加の行程について
郷右近修

2月1日

名鉄前後駅 → 名鉄豊橋駅	860円	(名鉄を利用)
JR豊橋駅 → JR静岡駅		(新幹線を利用)
113.4km 乗車券	1940円	
自由席特急券	2480円	

JR静岡駅 → 静岡商工会議所静岡会館 (徒歩)
市町村議会議員研修会に参加

静岡商工会議所静岡会館 → ホテル (徒歩)

2月2日

ホテル → 静岡商工会議所静岡会館		(徒歩)
市町村議会議員研修会に参加		
静岡商工会議所静岡会館 → JR静岡駅		(徒歩)
JR静岡駅 → JR豊橋駅		(新幹線を利用)
113.4km 乗車券	1940円	
自由席特急券	2480円	

名鉄豊橋駅 → 名鉄前後駅 860円 (名鉄を利用)

第35回市町村議会 議員研修会 in 静岡

3月議会を前に、 鍛えよう「政策力」～ どうする地方創生総合戦略

2016年2月1日(月)～2日(火)

会場：(2月1日記念講演、2月2日選科A)
静岡商工会議所静岡事務所会館会議室5階ホール 〒420-0851 静岡市葵区黒金町20番地の8
(2月2日選科B)
JR静岡駅ビル「パルシェ」7階第1・2会議室 〒420-0851 静岡市葵区黒金町49番地

全体会 13:00～17:00

2月1日(月)

(静岡商工会議所静岡事務所会館会議室5階ホール)

記念講演 13:10～17:00 (質疑・休憩含む)

地方財政の変貌と 自治体政策の焦点



森 裕之氏 立命館大学政策科学部教授

政府は新たな経済政策として「新三本の矢」(強い経済、子育て支援、高齢者福祉)を打ち出しました。これは「地方創生」政策そのものであり、自治体の役割がますます重大なものになります。地方財政においては、まちひとしごと創生事業、広域連携、公共施設の集約化・複合化、歳出効率化、公営企業の経営効率化などが課題にされ、地方創生への対応が求められています。2016年度予算と地方財政計画を通じて、自治体財政の焦点を検証していきます。



選科2コース 9:30～15:30

2月2日(火)

選科2コース 9:30～15:30 (質疑・休憩含む)
選科AまたはBのいずれかをお選びいただけます。

(静岡商工会議所静岡事務所会館会議室5階ホール)

選科A● 議会人の基礎チカラコース

介護保険の現状と自治体の役割



服部 万里子氏 服部メディカル研究所所長

高齢期の介護は国民共通の不安です。財務省の提案はサービス利用者の7割を市町村事業へ移行するもので高齢者や介護者の不安は測りしれません。サービス事業者も自治体も受け入れられる内容ではありません。介護給付を抑制するより、地域資源を活かし、より長く在宅で生活できるようにすることで給付は減ります。介護は地場産業です。抑制より育成が地域を元気にします。

(JR静岡駅ビル「パルシェ」7階第1・2会議室)

選科B● 地方創生総合戦略各論コース 公共施設の再編と地域づくり

森 裕之氏 立命館大学政策科学部教授

地方創生は自治体や地域に対する「選択と集中」を強め、地域再編を推し進めています。その鍵をにぎるのが自治体の公共施設の再編です。公共施設は住民の権利と自治の基盤であり、そのあり方は地域の将来に大きな影響を及ぼします。「公共施設とは何か」という原点に立ち返りつつ、今後の地域づくりについて考えていきます。

第35回市町村議会 議員研修会 in 静岡

2016年2月1日(月)～2日(火) 静岡商工会議所静岡事務所会館会議室・JR静岡駅ビル「パルシェ」7階会議室

参加申し込み

下の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXまたは郵送でお申し込みください。
ご送金は、下記の銀行口座へお願いいたします。

- 定員 180名(2日間通し参加のみ)*ご送金いただいた順に受付完了とし、領収証・参加案内をお送りいたします。
- 受講料(税込) 市区議会議員 29,000円 / 同 研究所個人会員 27,000円
町村議会議員 20,000円 / 同 研究所個人会員 18,000円 *キャンセル料=1月18日以降は10,000円を申し受けます。
議会事務局一般 18,000円 / 同 研究所個人会員 15,000円
- ご宿泊 お泊まりにつきましては、恐れ入りますがご自身でご手配ください。
- お弁当(税込) 1,400円(2日目昼食・お茶付、1月25日以降はご返金できません。)*周辺にもレストラン、食事処等がございます。

受講のお申し込みの流れ

- ①下記の参加申込書に、必要事項をご記入ください。
複数名でお申し込みの場合は、コピーの上、別々にご記入ください。
- ②参加申込書を、FAXまたは郵送でお送りください。
申込先 (株)自治体研究社・第35回議員研修会係 〒162-8512東京都新宿区矢来町123矢来ビル4F
FAX03-3235-5933 TEL 03-3235-5941 E-mail info@jichiken.jp
ホームページ(<http://www.jichiken.jp/>)からもお申し込みいただけます。
折り返し、「お振り込みのご案内」をFAXでお送りします。
- ③「お振り込みのご案内」を受け取られた後、参加費を下記の銀行口座にお振り込みください。
お振り込みの確認をもちまして、正式な受付となります。
銀行口座 三菱東京UFJ銀行 新宿通支店(050)
普通預金 No.0006815 名義「株式会社自治体研究社 研修会口」
*お振り込みの際は、「お振り込みのご案内」でお伝えします「受付番号」をお名前の前にご入力ください。
(例 個人の場合:123シズオカタロウ 議員団等複数人まとめた場合:123.124〇〇〇ギインダン)
- ④お振り込み確認し、領収証、参加案内を郵送でお送りします。
- ⑤参加申込書を提出後にキャンセルをされる場合、お振り込みの前後にかかわらず、FAXにてキャンセルの旨をご連絡ください。

第35回市町村議会議員研修会 in 静岡 参加申込書 自治体研究社 (FAX 03-3235-5933)

フリガナ	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 自治体問題研究所個人会員	
氏名	男・女	2日目昼食 <input type="checkbox"/> 弁当を注文する <input type="checkbox"/> 弁当は注文しない
領収証の宛名(名称)	参加費	2日目昼食
領収証の送付先 〒	円	円
	合計 円	
*議会の場合は、〇〇議会事務局気付などとお書きください。	2日目選科の希望 A(介護)・B(公共施設) (〇をつけてください)	
電話 FAX	今回の研修会で特に聞きたい点 (簡潔にお書きください)	
自治体名	都道 府県	市区 町村 現在()期目

会場へのアクセス

(お車でお越しの場合、駐車場はご自身で手配願います)

静岡商工会議所静岡事務所会館会議室5階ホール

2月1日記念講演、2月2日選科A

〒420-0851 静岡市葵区黒金町20番地の8

●電車/JR新幹線・東海道線静岡駅より徒歩3分

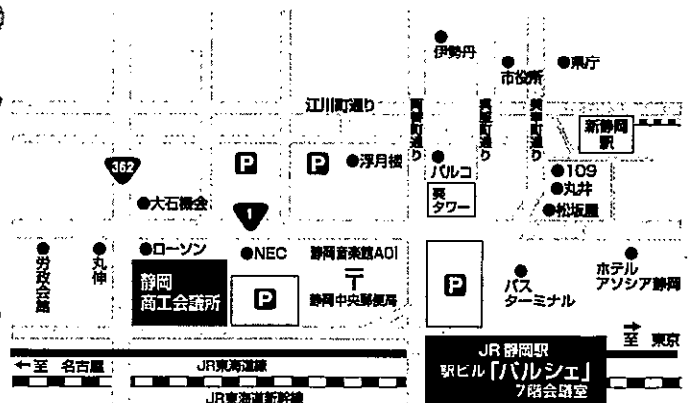
●静岡ICからは車で約20分/インター通りを北に国道1号線方面に約2km
国道1号線を東京方面に約1.3km、国道362号線を右折

JR静岡駅ビル「パルシェ」7階第1・2会議室

2月2日選科B

〒420-0851 静岡市葵区黒金町49番地

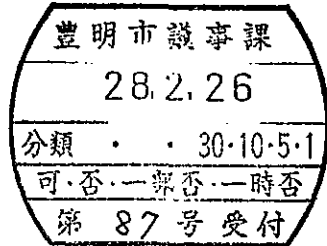
●JR新幹線・東海道線静岡駅ビル内



会派行政視察変更届出書

平成 28 年 2 月 26 日

豊明市議会議長 殿



会派の名称 日本共産党

代表者氏名 郷右近 修

平成 28 年 / 月 27 日付けにて届出致しました会派行政視察について、下記のとおり変更しましたので届出致します。

記

	変更後	変更前																																																						
期間																																																								
視察先 及び 視察事項																																																								
参加議員																																																								
旅費額	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">一</td> <td style="width: 15%;">交通費</td> <td style="width: 15%;">10,560</td> <td style="width: 10%;">円</td> <td style="width: 5%;"></td> <td style="width: 5%; text-align: center;">一</td> <td style="width: 15%;">交通費</td> <td style="width: 15%;">10,560</td> <td style="width: 10%;">円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人</td> <td>日 当</td> <td>3,000</td> <td>円</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td>日 当</td> <td>3,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">当</td> <td>宿泊料</td> <td>9,600</td> <td>円</td> <td></td> <td style="text-align: center;">当</td> <td>宿泊料</td> <td>14,500</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">り</td> <td>その他</td> <td>0</td> <td>円</td> <td></td> <td style="text-align: center;">り</td> <td>その他</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合 計</td> <td>23,160</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td>合 計</td> <td>28,060</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>総額</td> <td>23,160</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td>総額</td> <td>28,060</td> <td>円</td> </tr> </table>	一	交通費	10,560	円		一	交通費	10,560	円	人	日 当	3,000	円		人	日 当	3,000	円	当	宿泊料	9,600	円		当	宿泊料	14,500	円	り	その他	0	円		り	その他	0	円		合 計	23,160	円			合 計	28,060	円		総額	23,160	円			総額	28,060	円	
一	交通費	10,560	円		一	交通費	10,560	円																																																
人	日 当	3,000	円		人	日 当	3,000	円																																																
当	宿泊料	9,600	円		当	宿泊料	14,500	円																																																
り	その他	0	円		り	その他	0	円																																																
	合 計	23,160	円			合 計	28,060	円																																																
	総額	23,160	円			総額	28,060	円																																																
備 考	[宿泊費] 実費 2,600 円 (朝食代含む、領収書添付) 宿泊雑費 2,000 円																																																							

旅 費 計 算 書					概 算		28年 1月 21日			
					精 算		28年 2月 26日			
決 裁 欄	人 事 担 当 課	課長補佐	担当係長	係	主 管 課	課長	課長補佐	担当係長	係	所属課名
		/		/		/		/		議事課
職 氏 名		議員 郷右近修					職 務 の 級			
目 的		第35回市町村議会議員研修会in静岡					議 員			
出 張 先 (地 名)		静岡商工会議所静岡事務所会館								
出 張 月 日		平成 28年 2月 1日 (月) ~ 平成 28年 2月 2日 (火)					1泊 2日			
経路・運賃 <small>(旅費計算の起点～終点)</small>		<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">前後駅</div> <div style="text-align: center;">名鉄 860,</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊橋駅</div> <div style="text-align: center;">JR 113.4km 運特 1,940, 2,480,</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">静岡駅</div> </div> <p style="text-align: right;">往復同経路</p>								
<small>(過不足が、生じた時は、赤字で訂正のこと)</small>		概 算				精 算 (過不足額無しの時不用)				
		運 賃	10,560 円			10,560 円				
経 費		宿 泊 料	14,500 円			9,600 円				
		日 当	3,000 円			3,000 円				
		計	28,060 円			23,160 円				
経費の過不足額										4,900 円
経費の過不足が生じた場合の決裁欄		人 事 担 当 課	課長補佐	担当係長	係	主 管 課	課長	課長補佐	担当係長	係
		/		/		/		/		
負 担 金										27,000 円
市以外の補助団体及び補助金額										円
備 考										

※ 主管課の決裁欄中、課長補佐が配置されていない場合は、主幹が専決し、主幹又は課長補佐が配置されていない場合は、課長が専決する。

◎ 市役所以外の勤務公署からの旅行又は自宅から目的地へ直行・直帰する場合等は、勤務公署から目的地までの運賃(市役所から目的地までの運賃を上限)を限度額として計算する。

【参考】市役所⇒前後(名鉄バス:180円)、前後⇒金山(名鉄電車:350円)、前後⇒名古屋(名鉄電車:400円)

◎ 通勤定期乗車券が利用できる場合は、その区間の運賃を減額する。

◎ 経路・運賃欄は、旅費計算の起点から終点までの部分のみを記載する。(片道公用車を使用した場合や主催者のバスを利用した場合などは、その状況がわかるように記載する。)

番号

2/26

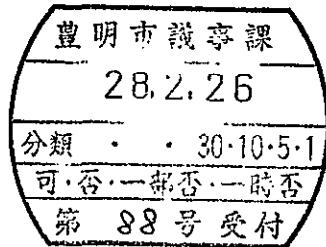
確認



会派行政視察報告書

平成28年2月26日

豊明市議会議長 殿



会派の名称 日本共産党

代表者氏名 郷右近 修

下記のとおり会派の行政視察を実施したので報告します。

記

期 間	平成28年2月1日～2月2日(1泊2日)
視 察 先 及び 視 察 項 目	静岡県静岡市の静岡商工会議所会館で行われた、 市町村議会議員研修会に参加しました。 2月1日は 地方財政と自治体の政策について講義を受けました。 2月2日は 介護保険と自治体の政策について講義を受けました。
参加議員	郷右近 修
欠席議員	なし
備 考	企画: 自治体問題研究所 主催: 自治体研究社

視察の報告

2016年2月3日

郷右近修

2016年2月1日、2日に行われた「市町村議会議員研修会」（自治体問題研究所が規格）に参加しました。1日目は地方財政と自治体政策について。2016年度は地方税が伸びる見込みから、地方交付税の0.2兆円減額を含めても、総額では地方財源が確保されているように見えるが、配分の仕方によっては自治体間に差がでるかもしれないとのことだった。今後政府は財政健全化の名目で地方財源を引き下げを促すことはまちががなく、公共施設の建て替えなどの予算も人口（使う人の数）によって配分されるから、人口減少論が振りまかれ、予算削減のてこにされているという。

一般論として自治体の力を維持するために人口を維持することは理解していましたが、政府の成果の上がる自治体に厚く予算を配分する「選択と集中」と、住民の数で地方財政が算定されることを踏まえると、小浮市長が豊明市の最重要課題に人口増加を掲げる理由が見えてきました。政府の地方財政の根拠になる人口減少論は福祉や教育予算削減のもとになっているから仮に豊明市が人口増や人口維持ができたとしても、政府が進める公共サービスの広域化（施設統廃合）を受け入れざるをえない状況になる可能性があるため、市民の暮らしを守れるかは不確かだと考えられます。また、効率化を謳いコンパクトシティー化が進められようとしています。これまでの予算額を狭い面積に集中させるのではなく、あくまでもインフラコストの削減が目的なので住民のつながりを壊すことになりかねない。

一方、財政の視点から地方行政で成功している例に飯田市の防犯灯事業を挙げていた。環境負荷の低減を目的にLED化を行う際、地元の中小企業グループが新商品開発を行い防犯灯を受注するとともに他県の自治体にも販売をしているということだった。浮いた光熱費を住民サービスに活用しながら企業からの税収増も実現しているという。これから行政と住民（民間）の協働が自治体運営のカギとなるから、豊明市でいえば市民ファンドの太陽光発電事業のような取り組みを色々な分野ですすめることが求められていると思いました。

2日目は介護保険について。介護保険制度がはじまり15年が経った。これまで4度の制度改訂が行われ、27年度は利用者の2割が20パーセント負担になり、特養の入所は要介護3以上に制限された。また大幅な介護報酬の引き下げが行われ事業者の負担もましている。要支援の通所と訪問介護は市町村に移行され、自治体によってサービスに差が生まれることになった。介護予防・日常生活総合支援事業はその担い手がボランティアでよいのかという点や高齢者を自立させる対象と捉えており、本当に必要なサービスが受けられない可能性がある点、「選択と集中」の方針が持ち込まれ、成果が見込めない人は対象にされないなどの問題があるということで、福祉としては不十分ではないかという印象を持った。

今後の介護に関して講師の服部氏は各サービスの連携の強化が重要との考えだった。食事や排泄など本人の意欲を引き出すきめ細かなサービスの実現には横断的なケアマネージメントが不可欠であることがわかった。講師は介護のありかたとして自宅での家族介護を重視しており、高齢者の生活環境変化で認知症が進行することなどを踏まえれば、家庭での介護は重要であるが、豊明市の現状でいえば特養の入所待ちの方が判っているだけでも90人居り、困窮している家庭の方が重い症状になっても入所できるような施設の整備は引き続き解決すべき課題になるのではないかと考えました。

今回の研修で政府が進める選択と集中の政治が豊明市民の暮らしにさらなる格差を生み出すのではないかという懸念をいただきました。市がその防波堤の役割を果たせるような政策を提案できるよう努力したいと思います。